

企業アンケートと意見交換会実施の結果

1. 目的

以下の事項を企業アンケートと意見交換にて調査し、教育課程等の構築の参考材料とする。

- ・企業が大学生に求める力
- ・インターンシップの意義（大学・学生にとっての意義／企業等にとっての意義）
- ・企業と連携した低学年向けキャリア教育

2. 企業アンケート実施と意見交換会（情報交流会）概要

企業アンケート実施期間 : 2023年10月2日～2024年8月21日

企業アンケート回答社数 : 261社

意見交換会（情報交流）開催日 : 2023年1月26日、2024年7月24日

意見交換会（情報交流）企業数 : 72社

3. 企業アンケート結果（抜粋）

[企業アンケート結果]

① 理系学生（本学学生）に求めるものは何ですか？（単一回答）

コミュニケーション力・論理的思考力	140社
基礎学力（一般常識、専攻学科の知識等）	30社
チームワーク力	24社
その他（好奇心・探求心・向上心・チャレンジ精神等）	67社

② 社会が求める力を身に着けるためには、大学時代どのように過ごすことを推奨しますか？（単一回答）

クラブ／サークル活動やアルバイト等で協調性、発言力等を養う事など	53社
様々な人との関わりや経験、色々なものへの興味を持ち取組む事など	137社
自分で考え行動する事（学生時代しか出来ない事）、責任感ある行動等	65社
その他（書物を読む、健康的な身体づくり等）	6社

③ 大学の教育の場にあったら良いと思われる教育プログラム等は何ですか？（単一回答）

インターンシップ、長期インターン、職業模擬教育、産学連携の講義等	47社
社会人教育、ビジネスマナー教育、課題解決プログラム	58社
グループワーク・プレゼン・コミュニケーションなどの能力開発	141社
その他（様々な発想の設計・研究など）	15社

[意見交換会（情報交流）のまとめ]

① 企業が大学生に求める力（意見交換／情報交流）

これまでの意見交換／情報交流での再確認を含め、コミュニケーション力・論理的思考力、理系学生としての基礎学力、様々な人との関わりや経験、グループワーク・プレゼン・コミュニケーションなどの能力開発など、産業界からの意見を反映した教育内容（能力開発）の導入に向けた継続的な検討と学生の主体性を引き出す取り組み（学

生が大学で学ぶ意義や目的を見出すこと)の大切さが示された。

② インターンシップの意義(大学・学生にとっての意義/企業等にとっての意義)

産業界等との協力・連携を行い、学修の質を向上させる機会としてインターンシップの充実が求められるが、もう1歩進んだ形のインターンシップ(課題解決型)などの拡充も大切と考える。また、学生自身が自ら学び社会的意味を理解することに加え、変わる働く環境、多様な働き方を知り、自身のキャリアビジョンを描ける機会としたカリキュラムを対応し、実践的な学びの充実を今後も継続していくことが大切であると示された。

③ 企業と連携した低学年向けキャリア教育

学生が大学での学びの意義を理解して将来の進路に活かせることを目的として、低学年時から職業観に必要な学習教材(企業協力教材)やインターンシップの取り組みなど、働く事と自分の学修との関わりを理解することや学生自ら卒業後の進路を見出し準備が出来るようにするため、企業との継続的な連携が大切と考える。また、就職活動の早期化、インターンシップとの連携による就職活動など学生を取り巻く就職環境も大きく変わっていることから、早期から継続的に学生の成長や卒業後の進路を意識した科目の配置や先輩等の活躍を盛り込んだ教材作成などの対応を拡充していくことも示された。

4. まとめ

今回の調査では、昨年度に引き続き、学生の多様化、産業界から求められる学生への要望をもとに、本学のキャリア教育の位置づけを明確にし、体系化する必要があることや、学生の成長と卒業後の進路を意識した科目配置など、社会と連携した教育課程等の構築、ならびに、インターンシップ、企業連携学習、社会人講師による諸講座等、学生の主体性を引き出し、社会を知り、成長できる学びの仕組み作りと充実したキャリア教育の実践の必要性について継続的に調査した。なお、産業界からの意見を反映した2024年度のカリキュラム対応・取り組みについて、企業や産学交流会アドバイザーから一定の評価があった。

以上

2024年8月30日

キャリア就職課